シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN104
1	科目名 英語科目名	**英会話初級** **Basic English Conversation**
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	**（選択２単位） ２年前期** **オクムラ フェラオドス サントス ディオゴ ラファエル＊**
3	授業テーマ・内容	この授業では実用的な日常英会話を練習します。穴埋め文章問題ではリスニングの強化、カルチュラルヒントでは海外の異文化の理解、またペアワークではスピーキングと流暢さを向上するための練習を行います。 カルチュラルヒントのページでは、課題を与えられることがあり、インターネットなどを利用して異文化の習慣等についてリサーチすることが求められます。 各授業までに数ページ分の単語、発音、文章の意味などを予習していただきます。授業中はできるだけ大きな声で発話してください。会話力の上達は反復練習によって習得されるため、授業外での復習が非常に大切です。この授業では毎回の授業態度が評価の大きなポイントになります。
4	学習成果	● 英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて理解力と自信を向上することができる。 ● 実用的な英会話技能を向上することができる。 ● 日常の場面別により自然で状況にふさわしい会話ができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて理解力と自信を向上することができる。	＊	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて、以前よりも理解度と自信を向上することができ、更に英語学習を継続する意欲を得ることができる。	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて、以前よりも理解度と自信を向上することができる。	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいてではないが、一部のスキルにおいて、以前よりも理解度と自信を向上することができる。	英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて、以前よりも理解力と自信を向上することができない。
2. 実用的な英会話技能を向上することができる。	＊	実用的な英会話技能の向上を実感することができ、更に英語学習を継続する意欲を得ることができる。	実用的な英会話技能を向上することができる。	実用的な英会話技能の向上は実感できないが、英会話に対する苦手意識をなくすことができる。	実用的な英会話技能を向上することができず、英語に対する苦手意識を克服することができない。
3. 日常の場面別により自然で状況にふさわしい会話ができる。	＊	事前に設定されている場面以外でも、実生活の中で状況に合わせてふさわしい英会話を実践することができる。	レッスン内で設定された日常の場面別によって、より自然で状況にふさわしい会話ができる。	日常の場面別に状況にあった会話を自然に使いこなすことはできないが、暗記した表現で会話することはできる。	日常の異なる場面ごとにふさわしい英語の会話を使い分けることができない。

＊授業内容を超えた自主的な学修が認められる場合

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN107
1	科目名 英語科目名	**日本語のはじまり** **Japanese,Culture and Anthropology of the World**
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	**（選択２単位） ２年前期** **斎藤安輝***
3	授業テーマ・内容	人類の発生と進化、言葉の獲得といった、人類学の初歩および、文学の発生や、漢字の伝来とその定着に始まる主に仮名成立以前の漢文による文学、「古事記」・「風土記」・「萬葉集」など平安以前の古代日本の文学と歴史の展開を、実際に毎回作品を通して具体的に学ぶ。
4	学習成果	様々な文化・社会における多様なものの見方・考え方・価値観について知り、受容する。 人類の発生のプロセスについて、現在の自身と比較しつつ考察する。 ものの見方や価値観を形成する環境・文化・社会の力についての多様性を発見し、 多文化共生社会における文化・社会的状況を対処や取り組みへの姿勢を養う。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
様々な文化・社会における多様なものの見方・考え方・価値観について知り、受容する。	積極的に自身の経験や社会における例を探し、それらを独自の知見を交えて解釈して客観的に評価できる	自身の経験や社会における例を探し、それらを独自に解釈して客観的に評価できる	自身の経験や社会における例をいくつか探し、それらを自分なりに解釈して客観的に評価できる	助言を受ければ自身の経験や社会における例を探し、それらを解釈して客観的に評価できる	到達目標を達成できていない。
人類の発生のプロセスについて、現在の自身と比較しつつ考察する。	それらについて積極的に調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を自身の肉体と比較して具体的に例を挙げて説明できる。	それらについて調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を自身の肉体と比較して表面的には説明できる。	それらについて調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を自身の肉体と比較して一通りは説明できる。	助言を受ければそれらについて調べ、文化的・精神的・肉体的な進化を最低限説明できる。	到達目標を達成できていない。
ものの見方や価値観を形成する環境・文化・社会の力についての多様性を発見し、多文化共生社会における文化・社会的状況を対処や取り組みへの姿勢を養う。	多文化共生社会について総合的にとらえることができ、世界や自身のまわりでの出来事について、積極的に情報を集め、どう対処すべきか考察し、実践できる。	多文化共生社会について学習したことを基本にとらえることができ、世界や自身のまわりでの出来事についてもどう対処すべきか考察し、実践できる。	多文化共生社会について一般的にとらえることができ、世界や自身のまわりでの出来事について、どう対処すべきか考察し、実践できる。	多文化共生社会について最低限の知識を持ち、助言を受ければ世界や自身のまわりでの出来事について、どう対処すべきか考えることができる。	到達目標を達成できていない。

一般教育

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN115
1	科目名 英語科目名	**心理学** **Psychology**
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	**（選択２単位） ２年後期** **竹井夏生＊**
3	授業テーマ・内容	人は生きる上で、心のことをおざなりにはできない。自分自身の心について洞察を深め、他者の心への感受性を深め、それらを響き合わせようとすることは、生きる上で欠くことのできないものである。この授業では、心について主に臨床心理学的な観点から学びながら、受講生それぞれがこれから送ることになる社会生活において、自らの心と他者の心を共に大切にしながら生きていくことができるための示唆となることを目指す。なお、授業は学生の関心や理解の状況をそのつど踏まえながら柔軟に進めていく。
4	学習成果	心の発達に不可欠な要素について知ることができる。 さまざまな心の病いや障害について知ることができる。 心の深層への関心を深めることができる。 いじめの個人的・集団的要因を知ることができる。 カウンセラーやクライエントの立場に身を置くことで、他者との関わりへの感受性を高めることができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
心の発達に不可欠な要素について知ることができる。	＊	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念と、その関連性を説明でき、かつそれらを自らの心の発達に照らし合わせることができる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念と、それらの関連性を説明することができる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念を説明することができる。	E.H エリクソンの心の発達に関する諸概念を説明することができない。
さまざまな心の病いや障害について知ることができる。	＊	さまざまな心の病いや障害について精神病理学的な観点から説明することができるとともに、そこから自らの心のありように関連付けて洞察することができる。	さまざまな心の病いや障害について精神病理学的な観点から説明することができる。	さまざまな心の病いや障害について説明することができる。	さまざまな心の病いや障害について説明することができない。
心の深層への関心を深めることができる。	＊	深層心理学の諸概念を知り、意識と無意識からなるトータルな人間像を説明できるとともに、自らの心の深層と関係づけることができる。	深層心理学の諸概念を知り、意識と無意識からなるトータルな人間像を説明することができる。	深層心理学の諸概念を説明することができる。	深層心理学の諸概念を説明することができない。
いじめの個人的・集団的要因を知ることができる。	＊	いじめの個人的・集団的要因と、その機序について段階的に説明できるとともに、それを集団場面に洞察的に活かすことができる。	いじめの個人的・集団的要因と、その機序について段階的に説明することができる。	いじめの個人的・集団的要因を説明することができる。	いじめの個人的・集団的要因を説明することができない。
カウンセラーやクライエントの立場に身を置くことで、他者との関わりへの感受性を高めることができる。	＊	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めながら、今後の人間関係において共感的かつ洞察的な関わりへの気づきを得ることができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めながら、人間関係への気づきを得ることができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めることができる。	カウンセリング体験を通して、自己理解や他者理解を深めることができない。

＊:授業内容を超えた自主的な学修が認められる場合

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN108
1	科目名 英語科目名	**社会と経済のしくみ** **Introduction to Sociology and Economics**
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	**（選択２単位） ２年後期** **林 大輔***
3	授業テーマ・内容	18 歳になり成人になると、契約行為の主体となり様々な経済活動にいやおうなく関与せざるを得なくなっていく。現代社会は、経済（お金）が生活に大きな影響を及ぼし、ある意味、生活の中心的な存在となってしまっている面もある。本講義では、経済ニュースの内容をその背景も含めて理解できるようになり、それらの情報に基づいて、自ら意思決定ができるようになることを目標としている。様々なお金に関するテーマのなかから、為替取引と株式取引を取り上げ演習も交えながらそれらを取り巻く環境を経済学のロジックから解き明かしていく。本講義を履修することにより、この社会にはびこる詐欺的なものから自らを守ることができる視点を構築してもらいたい。
4	学習成果	1. 社会経済のニュースの内容を理解することができる。 2. 為替・株式市場取引の仕組みを理解することができる。 3. 様々な媒体で得た情報から自ら社会経済問題を分析し対応することができる。 4. 詐欺、投機、投資の違いを見分けることができるようになる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 社会経済のニュースの内容を理解することができる。	社会経済のニュースを聞いた（見た）上で、自分の意見を述べることができる。	社会経済のニュースの内容を要約して、他人に説明することができる。	社会経済のニュースの内容を理解することができる。	社会経済のニュースに出ている用語を理解することができる。	社会経済のニュースの内容を理解することができない。
2. 為替・株式市場取引の仕組みを理解することができる。	為替・株式市場取引の仕組みおよびリスクを理解し、将来の予測が行える。	為替・株式市場取引の仕組みを理解し、実行能力があり、リスクも把握している	為替・株式市場取引の仕組みを理解し行うことができる。	為替・株式市場取引の用語を理解することができる。	為替・株式市場取引の仕組みが理解できていない。
3. 様々な媒体で得た情報から自ら社会経済問題を分析できる。	様々な媒体で得た情報から社会経済問題を分析し、自分の意見を論理的に説明できる	様々な媒体で得た情報から自ら社会経済問題を分析し、自分の感想を述べることができる。	様々な媒体で得た情報から自ら社会経済問題を分析し、説明することができる。	様々な媒体を利用して自ら社会経済問題を調べることができる。	様々な媒体で得た情報から自ら社会経済問題を分析できない。
4. 詐欺、投機、投資の違いを見分けることができるようになる。	詐欺、投機、投資の違いを見分け、説明し、他者に対して啓蒙することができる。	詐欺を見分けたうえで、投機と投資の違いを説明することができる。	詐欺を見分けることができ、投機と投資の違いを理解できる。	詐欺を見分けることができる。	詐欺、投機、投資の違いを見分けることができない

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN116
1	科目名 英語科目名	経営学 Business Administration
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	（選択２単位） ２年前期 齋藤勝洋*
3	授業テーマ・内容	本講義では、企業とは何か、その存立の理由から、企業の組織構造や目的、責任、人的資源管理等、企業経営の基礎的な概念、理論、視点を学んでいく。また、企業経営を取り巻く環境は常に変化するため様々な戦略事例についても多く紹介し、企業が持続的且つ安定的に発展するための、どのように組織をマネジメントしていくかについて学んでいく。 また、常に変化する市場環境の変化を掴むため、 マーケティングと事例についても紹介しつつ、毎回の課題を通して自ら考えて最適解を考察する経営的思考力も獲得することを狙っている。
4	学習成果	・基本的な経営に関する概念や用語を理解し、それを使って説明できる。 ・経済経営の現象を経営やマーケティングの視点から理解し分析できる。 ・将来の仕事の企業内での位置づけを理解し、効率的活動を考察できる。 ・経営やマーケティングの視点で分析し、自分の視点から考察ができる。 ・考え方、理解を伝え、正しくし理解して貰える文章の体裁を取っている。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
基本的な経営に関する概念や用語を理解し、それを使って説明できる。	専門用語の意味や目的だけでなく、用語の関係性や背景も正しく理解し、課題について論理的に書いている。	専門用語の意味や目的を十分に正しく理解し、課題に対して適切な使い方で書いている。	専門用語の意味や目的を理解し使っており、それを用いて課題について適切に書いている。	専門用語の意味や目的をある程度は理解し使っているが、課題に対して不適切な使い方で書いている。	専門用語の意味や目的を正しく理解せず、または専門用語をほぼ使わず、課題と関係ない内容を書いている。
経済経営の現象を経営やマーケティングの視点から理解し分析できる。	経営やマーケティングの視点を十分に正しく理解しており、課題に対して適切な使い方で論理的に書いている。	経営やマーケティングの視点を十分に正しく理解しており、課題に対して適切な使い方で書いている。	経営やマーケティングの視点を理解し書いており、課題に対して適切な使い方で書いている。	経営やマーケティングの視点を部分的に理解し書いているが、課題に対して不適切な使い方で書いている。	経営やマーケティングの視点を正しく理解しておらず、課題に対しても関係ない内容を書いている。
将来の仕事の企業内での位置づけを理解し、効率的活動を考察できる。	授業内容を活かして将来の業種や職種を具体的に想定し、組織の役割や機能と関連させて発展させた内容となっている。	授業内容から将来の業種や職種を具体的に想定し、組織の役割や機能も十分に理解し関連させた内容となっている。	授業内容から将来の業種や職種を想定し、組織の役割や機能も理解し互いに関連させた内容となっている。	授業内容から将来の業種や職種を部分的に想定し、組織の役割や機能とある程度、関連させた内容となっている。	授業内容から将来の業種や職種を想定できておらず、組織の役割と関連させていない内容となっている。
経営やマーケティングの視点で分析し、自分の視点から考察ができる。	経営やマーケティングの視点の理解と分析が十分にでき、それを活かして自分で客観的且つ十分な考察ができている。	経営やマーケティングの視点の理解と分析ができおり、それを自分の分析に加えて十分な考察ができている。	経営やマーケティングの視点の理解と分析ができおり、それを部分的に活かした自分の分析と考察ができている。	経営やマーケティングの視点の理解と分析がある程度できているが、それを活かした自分の分析と考察ができていない。	経営やマーケティングの視点の理解と分析ができておらず、それを含んだ自分の分析と考察もできていない。
考え方、理解を伝え、正しくし理解して貰える文章の体裁を取っている。	表現や用語が適切で、また、相手に伝えるため推敲ができており、論理的に書かれており、的確に読み取ることができる。	表現や用語が適切で、また、相手に伝えるため推敲ができており、内容を的確に読み取ることができる。	表現や用語に間違いがなく、また、相手に伝えるための推敲ができており、内容を読み取ることができる。	表現や用語に間違いが少なく、また、相手に伝えるための推敲が不十分だが内容がある程度は読み取ることができる。	表現や用語に間違いが多く、また、相手に伝えるための推敲が不十分で内容が読み取りにくい。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN110
1	科目名 英語科目名	くらしと法律 Law for Citizen
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	（選択２単位） ２年後期 安井聖美*
3	授業テーマ・内容	日本は、法治国家であり、我々は様々な法律に囲まれ、くらしている。 法律とはどのようなものであり、他の決まりや規則とどのように違うのか、どのように我々のくらしを規律しているのだろうか。 法律は、我々の個人の自由を守ってくれているものであるが、社会を構成する個人は一定の義務も果たさないといけない。 義務を伴う法律には、公正性と明瞭な予測可能性が必要である。そのため、三段論法的手法による論理性が必要となる。 本授業では、我々の生活に密接に関係する民法をとりあげ、法律行為の代表である契約について、契約の主体や意思表示の有効性、債務者の義務を論理的に学習する。契約を前提とない不法行為責任ついても学習する。 今日、社会のダイバーシティや経済が高度化する中で、家族法や企業法がどのように関与しているかについて学も習する。 時事問題は法律的な問題を含んでいることが多いため、、講義でも随時取り上げる予定である。
4	学習成果	受講生が日常生活には網の目のように法律関係がある事を理解し、民法についての最低限の網羅的な知識を習得し、法的思考を身に着ける。 ＜到達目標1＞法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できる。 ＜到達目標2＞民法における重要な知識・考え方を理解し説明することができる。 ＜到達目標3＞タイムリーな社会的事例や事件について、背景となる法理を理解し説明することができる。 ＜到達目標4＞具体的な事象に対し、法律的思考に基づいて、自分なりの結論を導くことができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できる。	法律が、他の社会的規範（道徳、宗教、文化、マナー等）と異なる点を、個人の自由の保障の観点から明確に、授業内容を越えた政治学、社会学等の観点も踏まえて説明できる。	法律が、他の社会的規範（道徳、宗教、文化、マナー等）とどの様に異なるかを、個人の自由の保障の観点から明確に説明できる。	法律が他の社会規範（道徳、宗教、文化、マナー等）とどの様に異なるのかを説明できる。	法律が道徳とどの点で異なるのかを説明できる。	法律が道徳とどの点で異なるのかを説明できない。
2. 民法における重要な知識・考え方を理解し説明することができる。	①権利と義務の関係 ②三大基本原則 ③重要な法理、 ④各法理における要件効果について全て説明することができる。	左記の①から④のうち、4つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、3 つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2 つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2 つ以上の項目を説明することができない。
3. タイムリーな社会的事例や事件について、背景となる法理を理解し説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件について、①どの法律の②どの規範があてはめられ、③どのような点が問題となっているかを説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件について、左記の①から③のうち、3 つの項目を不完全ながらも説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件について、左記の①から③のうち2つの項目を不完全ながらも説明することができる。	タタイムリーな社会的事例や事件について、左記の①から③のどれかの項目を不完全ながらも説明することができる。	タイムリーな社会的事例や事件を法的に説明することができない。
4. 具体的な事象に対し、法律的思考に基づいて、自分なりの結論を導くことができる。	具体的事象を①法律要件にあてはめ、②法律の三段論法に従い、③法律上の結論を導き、④具体的事例についての自らの結論を説明することができる。	左記の①から④のうち、4つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、3 つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2 つの項目を不完全ながらも説明することができる。	左記の①から④のうち、2 つ以上の項目を説明することができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN114
1	科目名 英語科目名	**生物学** **Biology**
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	**（選択２単位） ２年前期** **山本慎太郎***
3	授業テーマ・内容	今般、日常や職業上の生活の中で、生物学の知識をもとにした判断や評価を迫られる機会は日々増えつつある。この講義では、生物学という大きな学問分野の全体を可能なかぎり概観し、今後の生活・業務の中で必要となる生物学の考え方と知識とを身につけ、さらにはこれを基礎として将来にわたって生物学やその周辺にかかわる知識をアップデートしていく能力の獲得を目指す。そのために、現代生物学全体の背景をなす進化の理論を中心に、分子生物学・生態学・発生学・神経生理学などのトピックを紹介し、これを周辺諸分野との関係の中にも位置づけながら論じていく。
4	学習成果	1. 進化の理論について遺伝子の観点から把握し、必要に応じて応用できる。 2. 生物学の諸分野の考え方を把握し、日常接するそれらのトピックについて理解できる。 3. 上記の知識や考え方をもとに、将来にわたり、必要に応じて生物学についての知識を適宜に更新していくことができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 進化の理論について遺伝子の観点から把握し、必要に応じて応用できる。	進化史・生物学上の、メカニズムが未知の事象を例示し、そのメカニズムを推定して的確に論述できる。	授業内容に含まれない進化・生物学史上の既知の事象を例示し、そのメカニズムを的確に説明できる。	授業内で紹介した進化史・生物学上の事象を例示し、そのメカニズムを的確に説明できる。	授業内で紹介した進化史・生物学上の事象を例示できる。	授業内で紹介した進化史・生物学上の事象を例示できない。
2. 生物学の諸分野の考え方を把握し、日常接するそれらのトピックについて理解できる。	自身の生活や職能に関わる生物学上の未知の領域について認識し、解明に必要な研究事項を構想できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを出版物や報道記事などから適切に選択・説明し、自身の生活や職能との関係を把握できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを出版物や報道記事などから適切に選択し、説明できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを出版物や報道記事などから適切に選択できる。	授業内で紹介した生物学上の知識・理論に関わるトピックを適切に選択できない。
3. 上記の知識や考え方をもとに、将来にわたり、必要に応じて生物学についての知識を適宜に更新していくことができる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得て、その確からしさを評価し、未知の事柄を説明できる新規な生物学上の理論を理解できる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得て、その確からしさを評価し、何が未知なのかを指摘できる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得て、その確からしさを評価できる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得ることができる。	出版物や報道等で知り得た生物学に関わるトピックについての情報を、オンラインデータベースや文献等の調査により得ることができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN111
1	科目名 英語科目名	**地球環境論** Natural Environmental Science
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	**（選択２単位） ２年前期** **村田安繁***
3	授業テーマ・内容	人類は地球環境に支えられて生存している。しかし、人間活動は環境に影響を与え、時として人類の生存を脅かすように環境を悪化させた負の歴史がある。一方、それを回復させた正の歴史もある。このような歴史を通して得た知識や技術は現在及び未来の人類が健康で文化的な生活を営むのに不可欠な人類の英知である。この英知を受継ぎ、環境・社会・経済のバランスの取れた持続可能な発展を目指す技術に関する基礎知識を得ることが本講座のテーマである。 この目標の為に環境に関するレポート1題（A4 表紙除き２頁以上、独自性、内容、文字量、完成度にて評価）と、一部の授業で意見メモの提出を求める。 尚、講義中の私語を厳禁とする（疑問等は挙手して質問すること）。
4	学習成果	現在注目されている環境問題について理解できる。 環境に関して対立する意見について知ることができる。 公害を含む環境に悪影響を与えた国内事件の原因や対策について理解できる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度４	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度０
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
現在注目されている環境問題について理解できる。	＊	現在注目されている10以上の環境問題について説明できる。	現在注目されている7以上の環境問題について説明できる。	現在注目されている4以上の環境問題について説明できる。	現在注目されている4以上の環境問題について説明できない。
環境に関して対立する意見について知ることができる。	＊	環境に関して対立する6以上の意見について説明できる。	環境に関して対立する4以上の意見について説明できる。	環境に関して対立する2以上の意見について説明できる。	環境に関して対立する2以上の意見について説明できない。
公害を含む環境に悪影響を与えた事件の原因や対策について理解できる。	＊	公害を含む環境に悪影響を与えた8以上の国内事件の原因や対策について説明できる。	公害を含む環境に悪影響を与えた6以上の国内事件の原因や対策について説明できる。	公害を含む環境に悪影響を与えた4以上の国内事件の原因や対策について説明できる。	公害を含む環境に悪影響を与えた4以上の国内事件の原因や対策について説明できない。

＊：授業内容を越えた自主的な学修が認められる場合（筆記試験及びレポートにて評価）